

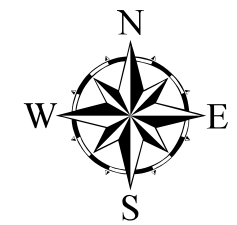


# 姫路港 津波防災情報図（引潮図）

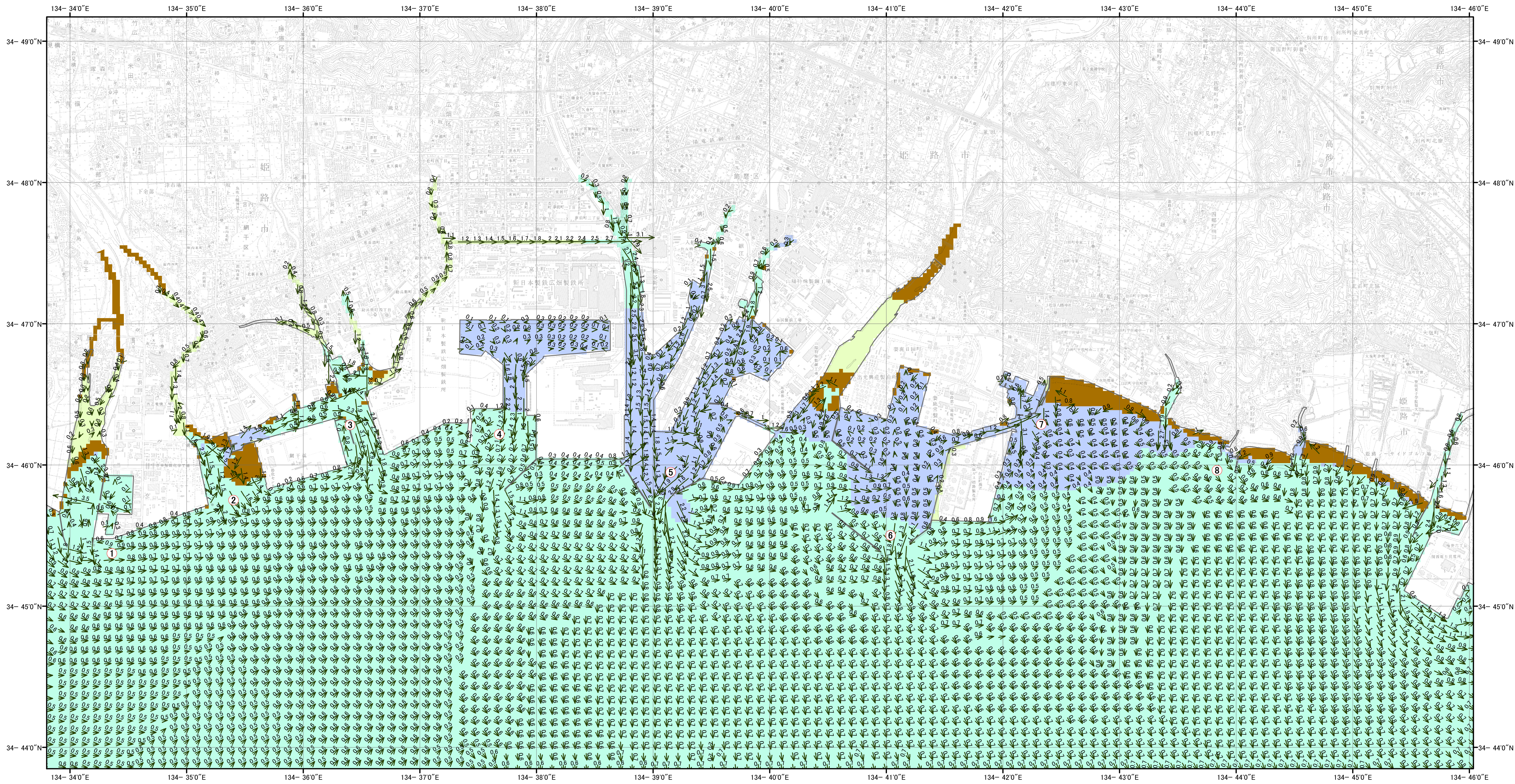
計算条件：最低水面

隆起量：平均 -5cm(-5cm ~ -4cm)

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。



1:30,000

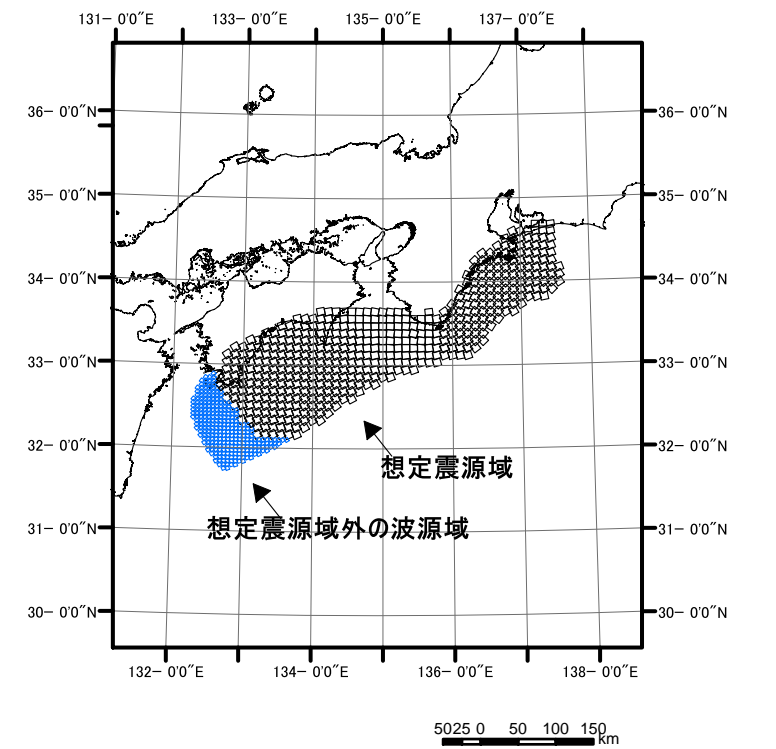


### 凡例

- 露出域
- 経時変化図出力点
- 最大水位低下**
- 100~最大145cm
- 50~100cm
- 50cm未満
- 引潮時最大流 [knot]**
- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

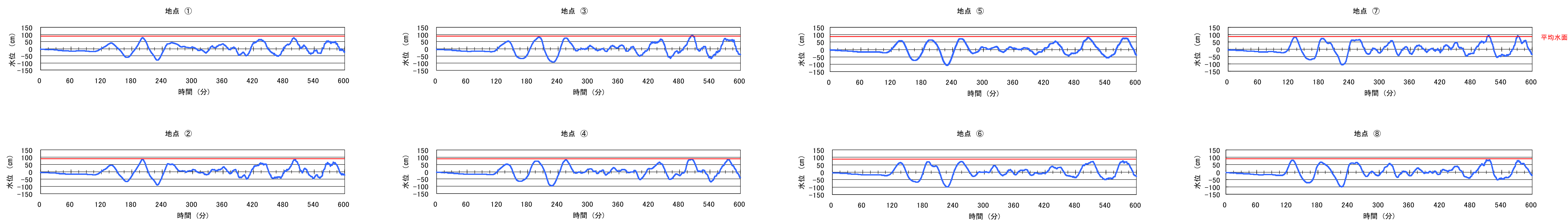
### 想定震源域と波源域の位置



マクロ的に見たパラメータ	南海地震	東南海地震
断層面積 S (km <sup>2</sup> )	約 36,500	約 14,500
地震モーメント Mo (N·m)	8.34 × 10 <sup>21</sup>	2.15 × 10 <sup>21</sup>
平均すべり量 D (m)	5.70	3.63
モーメントマグニチュード Mw	8.55	8.15

・本図は、中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」で公表された断層モデル及び断層パラメータを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



- ・試算には、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ及び海図を作成する際の基礎データを使用した。
- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平17総復、第760号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号 平17総使、第569号)
- ・この地図は、姫路市長の承認を得て、同市発行の姫路市基本地形図(縮尺1:2,500)を使用したものである。